

北見工業大学 国際交流センター ニュースレター

日本語版
第116巻
2017年4-5月



【目次】

- ・新入学留学生オリエンテーション
- ・海外留学説明会&語学・文化研修説明会
- ・インターナショナルCアワー（4月・5月）

4月3日(月)

新入学留学生オリエンテーション



短期留学生(15名)、正規留学生(6名)及び研究生(1名)を対象にしたオリエンテーションが行われ、市役所での手続きやごみの捨て方などについて説明が行われた。留学生達は、生活に必要な重要な内容について、一つ一つ確認しながら真剣に聞いていた。

その後、チューターを紹介され、今後の手続きや履修登録について相談をしていた。実りある留学生活を送ってほしいと願っている。



サランビレグ(短期留学生・学部4年・モンゴル)

留学生活は、楽しくて、面白いです。たくさんの友達ができました。寿司、納豆、お好み焼きなどが好きです。北見や日本をもっと探検したいです。



タン ペイユ(学部1年・マレーシア)

留学当初は、日本の文化や言葉に興味がありました。今は、日本の環境保全について勉強し、いつか自ら学んだことを社会に役立てられるようにしたいです。



胡 尚雲(修士課程1年・中国)

北見は静かで、勉強したり、生活したりするにはいい所だと思います。専門知識を学び、将来就職につながるようにしたいと思います。

4月5日(水)

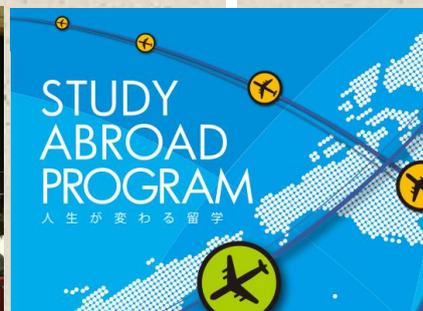
海外留学説明会

新入生ガイダンスにおいて、海外留学についての概要説明が許斐国際交流センター長より行われた。学生達はメモを取りながら真剣に話を聞いていた。一年生から留学を意識することにより、より充実した留学につながる事が期待される。本センターとしても、留学のサポートを積極的に行っていく。

4月20日(木)

語学・文化研修説明会

今年度実施予定の語学・文化研修の説明会が行われた。今年の研修先は、ドイツ、オーストラリア、アメリカ、中国、韓国の5カ国で、それぞれの担当教員より詳細な説明が行われた。語学・文化研修は、短期間で行けるというメリットがあり、将来的に長期留学へ発展するケースも報告されている。



4月25日(火)

インターナショナルCアワー「歓迎会」

新年度第一回目のCアワーは、「新しい留学生を歓迎しよう！」と題し、盛大に実施された。普段より遅い午後6時からの開催にもかかわらず、留学生、市民の他に日本人学生、総勢119名の方々が参加し、行われた。

はじめに国際交流センター長より挨拶があり、その後、ゲームを行ないながら新しい人々と知り合い、交流する時間となった。ゲームは「同じ人を見つけてハイタッチ」、「全身じゃんけん」、「電車ゲーム」を行った。

会場が和やかな雰囲気となり、参加者が打ち解けてきた頃、新留学生24名が自己紹介を行った。

韓国からの短期留学生キム・サンホンさんが、「友達を絶賛募集中！」と大きな声でアピールしたり、中国のチェン・シンユンさんが、自分の名前を使いながら楽しい自己紹介を行い、会場からはひとりひとりに温かい拍手が送られていた。

続く「友達100人作ろうゲーム」では、お菓子やケーキを囲みながら新しい人と知り合う交

流・歓談の時間となった。

ゲームの後は、ペンギンとルイージの衣装に扮した韓国の留学生が景品のプレゼンターとなり、会場は笑い声で一杯となった。

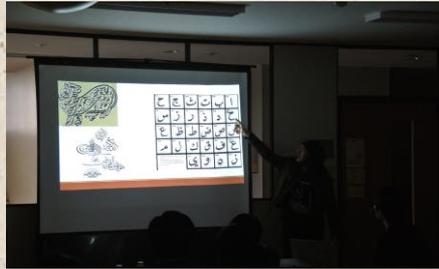
最後はフセインさんの指導による「ココナッツダンス」を全員で踊り、仮装した留学生に民族衣装の留学生も加わり、会場は最高潮に盛り上がった。

アンコールの声でもう一度踊り、歓迎会は熱気で包まれたままお開きとなった。



5月24日(水)

インターナショナルCアワー「お国紹介」



今回は、サウジアラビア王国から来た留学生カリーファさんによるお国紹介を行った。サウジアラビア王国は観光で訪れることができない国ということで、会場は本学の日本人学生、留学生と多くの北見市民で一杯になった。

本学で唯一のサウジアラビア人であるカリーファさんは情報システム工学科 4 年に在籍している。発表前には「日本とサウジアラビアの違うところだけではなく、同じところも紹介したい!」と意気込んでいた。

参加者には最初に「サウジアラビアコーヒー」とドライフルーツの「棗(なつめ)」がカリーファさんから振る舞われた。コーヒーを飲みながら食べるというドライフルーツの「棗」とコーヒーの材料は、断食明けには欠かせない食べ物として、毎年この時期に故郷のお母さんから送ってもらうそうだ。

カリーファさんは第四夫人の長男で兄弟はなんと14人もいるとのこと。一夫多妻制の説明と共にカリーファさんの大家族画像が紹介された会場に

はどよめきがあった。

続いてサウジアラビアの結婚式や踊り、イスラム教、メッカの内部や巡礼の様子、アラビア語の特徴、学校教育制度、代表的な食べ物などについて、360度の美しい画像や動画を使いながら詳しく説明してくれた。民族衣装は3着の実物が会場に展示され、着用の仕方等も実演してくれた。

発表後は参加者からの質問がとめどなく続き、Cアワーが開きとなった後にも大勢の参加者に囲まれたカリーファさんは質問に答え続けていた。実際には観光に行けないサウジアラビア王国であるが、カリーファさんのおかげで、美しい景色や街の様子、人々の生活などを知ることができた。

岡崎さん(機械工学科2年)は、「知らないことばかりで本当におもしろい発表だった!スパイスの効いたコーヒーと甘い棗を食べる風習は、日本の茶道に似ていると思った」と驚きの表情で話していた。

国際交流

今後の予定(6月)

- 6月 23日(金) 野草観察会
- 24日(土) 大学祭 (国際交流お茶会・生け花体験)
- 25日(日) 大学祭 (留学生着物体験会)
- 27日(火) インターナショナルCアワー(竹とんぼ)

発行所: 北見工業大学国際交流センター

住所: 北見市公園町165

電話: (0157) 26-9370

FAX: (0157) 26-9373

E-mail: kenkyu05@desk.kitami-it.ac.jp

